



落三小 だより

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai3/>



令和3年10月29日

11月号（第406号）

新宿区立落合第三小学校

「地域総がかりの教育」

校長

10月から遠足や社会科見学などの校外学習ができるようになりました。多くの方々の苦勞と努力により、新型コロナウイルスの感染者が減少したおかげです。まさに「百聞は一見に如かず」早速、生活科の「町たんけん」や総合的な学習の時間の調査活動が始まりました。私も引率する機会がありましたが、子どもたちは目を輝かせながら地域について調べ、気づきを深めていきました。

私は、子どもたちが本気で学習に取り組むには、本物に出遭う体験が有効であると考えています。実際に見たり、聞いたりしたことには、子どもの本気に火を点す強い力があります。特に、人との出会いやかかわりは、子どもたちの見方・考え方を深めるだけではなく、生き方にも影響を与えることがあります。これまでに、町会長、青少年育成委員長、新宿区役所地域防災課、気象予報士、二葉苑の方々をお招きしてお話を伺ったり、子どもたちの提案に対してご助言をいただいたりしてきました。また、「町たんけん」や地域の調査活動には、保護者の方々にも、引率にご協力いただいています。これらの人とのかかわりは、子どもたちの心に尊敬や感謝の心、地域への愛着をはぐくみます。自分たちが生活しているまちや人のよさに包まれていることを感じて育つことは、将来、心豊かに生きていくことに繋がると思っています。

このように、子どもの健全育成を教職員、保護者、地域の方々、専門家の方々などが、協働で行っていくことを、私は「地域総がかりの教育」と名付けました。今後も、多くの方々のご支援をいただきながら、質の高い教育活動を目指していきます。その様子を見ていただくために、11月には、学校公開、学習発表会を行います。密集を避けるために、分散してのご参観とさせていただきます。また、学習発表会は、各学級での発表をご覧ください。詳細は、今後、配布いたしますご案内をご覧ください。

令和3年度 11月 行事等の予定



1	月	振替休業日	16	火	社会科見学(6年)	◎
2	火	安全指導日 読書月間始 クラブ活動 ◎	17	水	B5 副籍交流	
3	水	文化の日	18	木	B4(校内研究のため4年2組のみ5時間授業)	◇
4	木	歯科講話(6年) 読み聞かせ交流会ペア決め(1h) ◇	19	金	学校公開	
5	金	避難訓練(防災教室)	20	土	学校公開 学習発表会	
6	土		21	日		
7	日		22	月	振替休業日	
8	月	遠足(1, 2年) 歯科指導(4年) 学力調査(6年) ◎	23	火	勤労感謝の日	
9	火	委員会活動 ◎	24	水	学校公開 セーフティ教室(4~6年) 読み聞かせ交流会(全学年 4h) ◇	
10	水	B4(教員研修のため)	25	木	音楽鑑賞教室(6年 4h) セーフティ教室(1~3年)	
11	木	情報モラル教室(5年) 遠足予備日(1, 2年) ◇	26	金	学力調査(4年)	
12	金		27	土		
13	土		28	日		
14	日		29	月	遠足(3年) 落ち葉拾い始 ◎	
15	月	学力調査(5年) ◎	30	火	オリパトーチ写真撮影(午前) 委員会活動 読書月間終 ◎	

◎…区 SC 先生勤務日 (月火 9:45~16:45)

◇…都 SC 勤務日 (木 8:15~16:45)



教室の窓 5年

5年担任

今年度の総合的な学習の時間は、「防災」を探究課題として設定しました。設定理由は、近年、線状降水帯や集中豪雨、台風の勢力が増すなどの影響により、全国各地で水害や土砂災害が多発しているからです。また、本校の学区域では、約15年前に妙正寺川の氾濫があり、水害の被害が起きています。さらには関東大震災から98年が経ち、30年以内に70%の確率で、首都直下型地震がいつ起きてもおかしくない状況であるからです。

児童と学習を進めていく中で、活動テーマを「災害から落合の地域の人たちの命を守ろう。」と決めました。新宿区役所の危機管理課の担当者の方や気象予報士の山神さんからも災害に対する備えを教えていただき、自分たちでまちの調査に出かけ、安全な場所や危険な場所をピックアップし、自分たちなりに学区域地図を使い、パワーポイントで調査結果をまとめることができました。

しかし、自分たちで地域の人たちに防災・減災のことを伝えようとしても、不安感が残っている様子でした。児童から、「どうやって地域の人たちに伝えていく?」「いざ災害が起きたら、本当にパニックなるかも」「地域の人、全員に伝えられるか」「自分たちだけで、本当に減災・防災対策ができるか」「地域の人たちが、本当に避難できるか」「周囲に目を配れるか」「自分のことで、いっぱい、いっぱいになると思う」「災害状況の確認の仕方が不安」などの意見が出てきました。これらのことから、活動テーマを振り返り、災害の問題点を次の2点に絞りました。「①地震や水害などで、たくさんの命が奪われている」「②地域の人たちと協力して災害の対策について話し合う場が少ない」の2点です。その後の学習では、災害の種類から自分たちの不安感をどう無くすか、地震、水害などの発災時、誰に、何を聞けばよいか等、話合いの質を高めることができました。

このように、現代社会の問題点を解決するために、自分たちで課題を決め、解決するための視点を明確にし、調整や情報収集を行い、話合いを進める中で論点を決めていくことを大切にしています。また、児童が学習を通して自分たちで学習を進めていくよさを実感しています。授業の話合いでは、「なぜ? どうして?」の疑問に対する答えには理由や根拠が重要になります。今後の学習活動も、児童が自分の考えをより明確にし、友達や相手の考えを大切にしながら、活動や学びをより深めていけるよう、問いかけをするなどして、学習展開を工夫していきます。



読書月間

図書担当

落三小では、今年度は11月を読書月間として様々な活動を行っていきます。

11月24日の読み聞かせ交流会では、4～6年生による1～3年生への読み聞かせを行います。たてわり班に分かれて、実施します。

読書月間の取り組みは図書委員会が中心となって行っています。今年度の図書委員会では、以下のような読書推進活動を実施します。

- ① 低学年は7冊、中学年は6冊、高学年は5冊の本を読んで記録する。
- ② そのうちの一冊の感想を書く。
- ③ 書いたカードを、中休み・昼休みに図書室にいる図書委員の児童に見せる。
- ④ 図書委員から、図書委員会手作りのしおりと新しい用紙を受け取る。
- ⑤ ①から④を繰り返す。



児童は、読書月間後に「友達にすすめたい一冊」を書きます。保護者の方も、読書月間が終わりましたら、読書カードへ励ましのメッセージを書いていただければと思います。

読書の秋。たくさんの本に出会い、本を読む楽しさを味わえる期間になればよいと思います。ご家庭でもぜひ、読書月間について話題に上げていただければと思います。

